

86年に旧ソ連で起きたチェルノブイリ原発事故から20年にちなみ、キエフナイチンゲール合唱団による被害者支援コンサートが29日午後2時、行橋市東徳永のカトリック新田原教会で開かれる。

【降旗英峰】

チェルノブイリ「キエフ合唱団」 原発事故から20年

同合唱団はチェルノブイリのあるウクライナの首都キエフの音楽学校生で構成。原発事故の影響とみられる免疫低下や内臓疾患、アレルギーに苦しむ子供たちに医薬品を支援するNGO・ドゥルージバ（事務局・山口県宇部市）の招きで来日し、11月まで国内13カ所で公演する。

という縁で実現した。みやこ町の犀川少年少女合唱団も友情出演する。大人1000円、小中学生500円。収益はドゥルージバを通じて現地へ送る。

信徒で作る教会委員会の谷口初男委員長(58)は「20年前の事故で今も苦しむ人がいる。ポケットマネーや小遣いの一部を支援に充て『ドゥルージバ』(ウクライナ語で「友情」)を育てたい」と来場を呼びかける。問い合わせは同教会0930・25・6095。

29日、行橋市の新田原教会 被害者支援コンサート

犀川少年少女 合唱団も出演

行橋公演は新田原教会のシスター亀崎善江さんがドゥルージバの会員と



コンサートが開かれる聖堂で来場を呼びかける谷口委員長